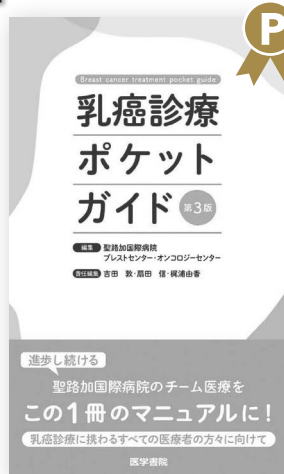


#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.1091)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

P



乳癌診療ポケットガイド 第3版

聖路加国際病院プレストセンター・オンコロジーセンター＝編
定価 4,180 円／B6 変判・280 頁／医学書院／2024

進化し続ける聖路加国際病院プレストセンターのチーム医療を、1冊のマニュアルに収載！乳癌診療に携わる医師はもちろん、専門看護師、薬剤師、遺伝カウンセラーなどメディカルスタッフの方々にとっても役立つ知識、実臨床で求められる新規治療の詳細まで、コンパクトにまとめた。乳癌診療の専門性はさらに向上し、多職種が協働して患者を支えることがますます求められている。乳癌の専門家をめざす人の必携の書。



『循環器ジャーナル』2024年7月号 (Vol.72 No.3)

特集 心房細動
予防・早期発見・治療の進化

草野研吾＝企画

定価 4,510 円／A4 変判・160 頁／医学書院／2024

心房細動は心原性脳塞栓だけでなく、心不全や洞不全など、重症な循環器疾患に密接に関係していることは以前から理解されていた。2002年に発表されたAFFIRM研究によって、抗不整脈薬による心房細動治療が生命予後改善に結びつかないという残念な結果の影響で、治療の首座がレートコントロールへと移行し、心房細動そのものへの積極的な治療が施されていなかった。しかし近年、新規抗凝固薬を用いた前向き介入研究の結果や、カテーテルアブレーションの進化による非薬物治療の進化などにより、あらためてその臨床的な重要性について理解が深まっている。そこで本特集ではさまざまな最新の治療法、薬剤療法、内科的・外科的治療法について解説した。



『medicina』2024年7月号 (Vol.61 No.8)

特集 “とりあえずスタチン”から脱却！
動脈硬化性疾患一次予防・最新の考え方

藤吉朗、吉田博＝企画

定価 2,970 円／B5 判・184 頁／医学書院／2024

近年のわが国では脂質異常症・糖代謝異常・肥満（メタボリックシンドローム）の増加や、脈硬化性疾患自体の増加を示唆する報告があり、学童・青少年期から生涯にわたった動脈硬化性疾患予防の必要性が叫ばれている。そこで本特集では、最新の科学的知見や臨床の現況も網羅しながら、特にプライマリ・ケア医など、循環器疾患の診療が専門ではない臨床医も想定し、動脈硬化性疾患を取り巻く幅広い分野を「疫学」「診断」「治療」「生活習慣」「トピックス」の範囲から計25セクションに分け、各セクションの最新情報について当該分野の専門家から解説してもらった。執筆にあたり、寄せられた読者からの疑問にも可能な限り答えてもらい、図表などで理解しやすいよう配慮した。



『病院』2024年7月号 (Vol.83 No.7) 特集 病院経営を科学する

定価 3,300 円／A4 変判・88 頁／医学書院／2024

近年、病院経営の厳しさが増している。新型コロナウイルス感染症対応に対する補助金が交付されたことで、赤字経営の病院数は減少したが、通常の診療体制に戻ることで60%以上の病院が赤字になっているという推計もある。このような状況を踏まえて、病院に対する診療報酬上の評価の見直しを要求する意見が医療界から上がっている。他方で、病院経営の改革の必要性も指摘されている。医療保険財政、そしてその前提となる一般経済の厳しさを踏まえれば、病院経営の合理性を向上させようとして、それを透明化することが、必要な評価の見直しに対する国民の理解を得るための前提条件となるだろう。本特集では、科学的な病院経営の在り方について、国内の実践事例を基に論考する。



『BRAIN and NERVE』2024年7月号 (Vol.76 No.7) 特集 ニューロ・バイオイメーシング 技術と応用

定価 3,080 円／A4 変判・96 頁／医学書院・2024

近年、バイオイメーシング分野では、生体をそのままの状態ですべて計測できる技術の発展がめざましく、これまで観察することのできなかった生体内の微細な構造や機能を可視化することで、新たな可能性を切り拓いている。しかしその高度な専門性ゆえに、技術面と応用面の双方を理解するのは容易ではない。そこで本特集では、超解像度の顕微鏡技術、PET、MRI、分子プローブの開発による最近の技術動向と、それらが脳神経系へどのように応用されているかについて、各分野を牽引する研究者にわかりやすく解説した。脳科学、医学とバイオイメーシング技術の接点を探究しながら、バイオイメーシングの進歩がもたらす未来をともに考えていただきたい。